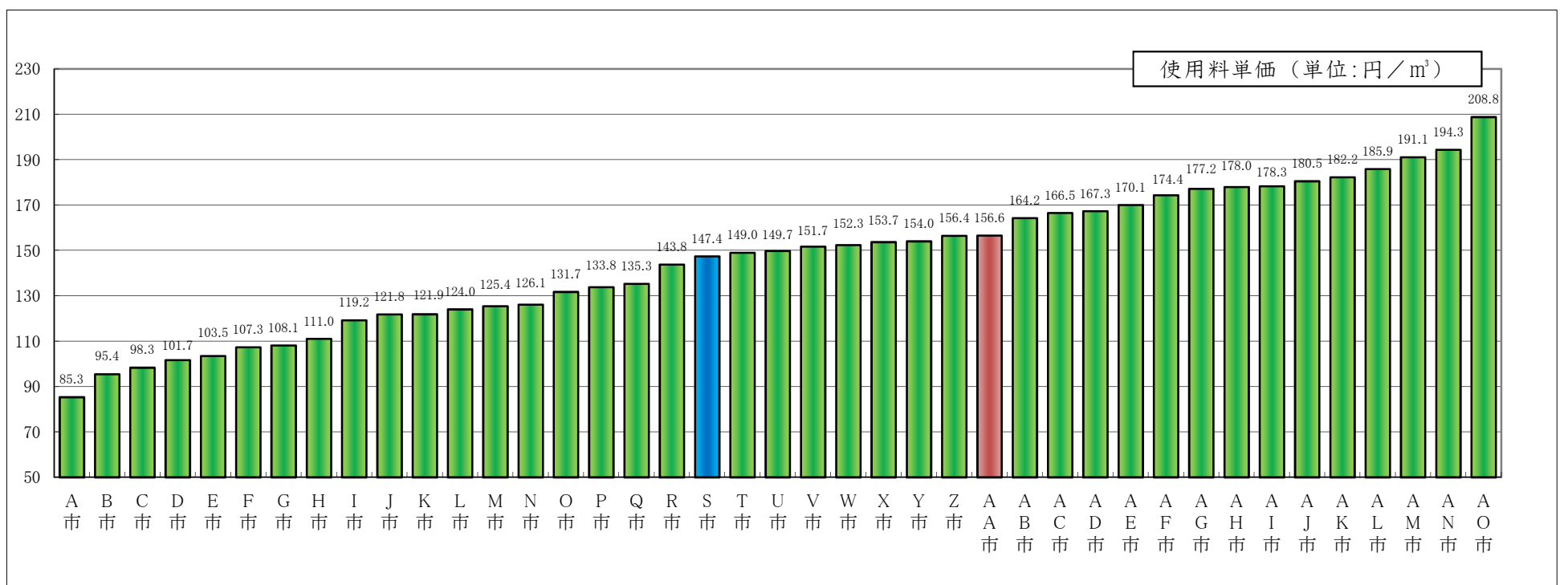
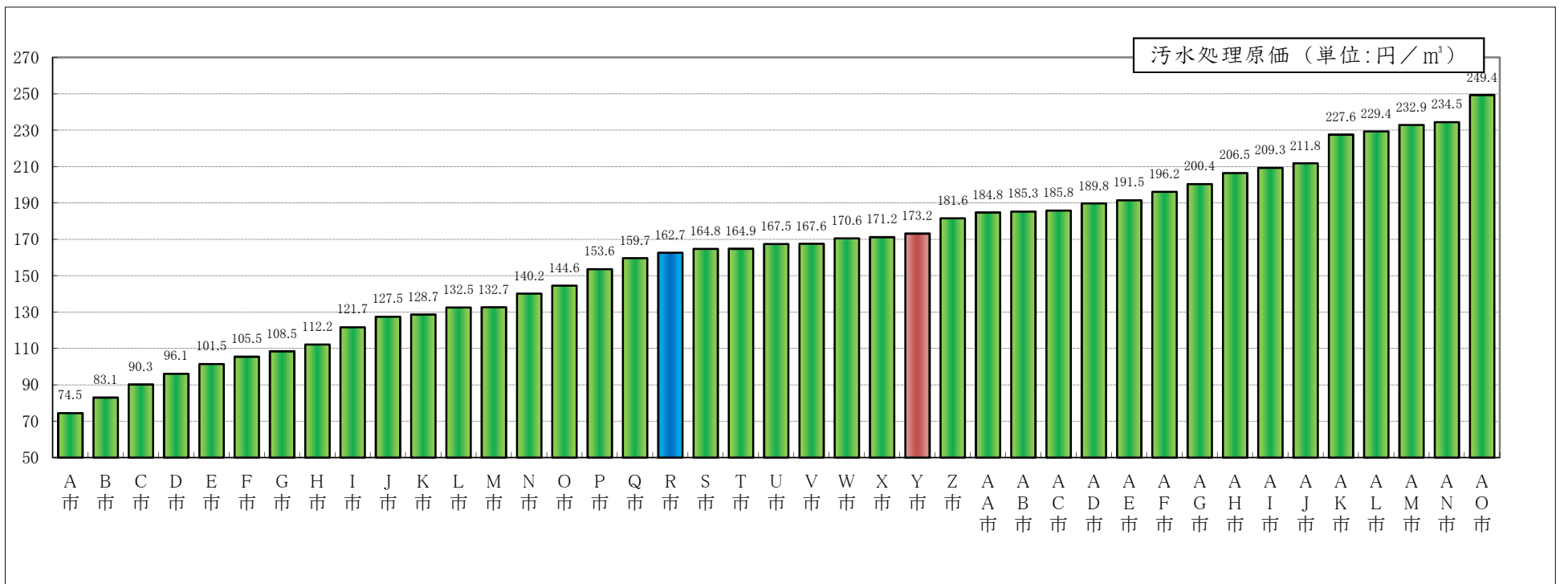
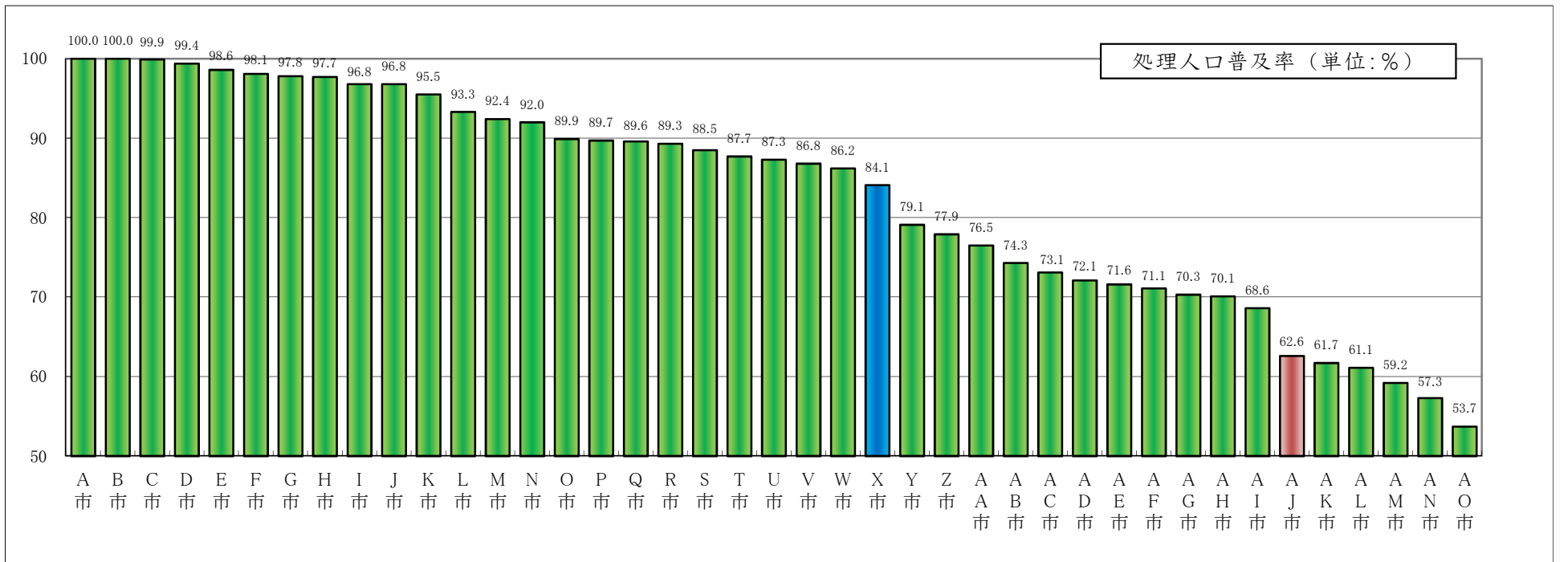


## 2. 経営指標等

※ 中核市は、平成28年4月1日現在 47市、比較については法適用の 41市としている。  
 ※ グラフ中の青色の表示は、比較する中核市 41市の平均の近似値の都市を示している。

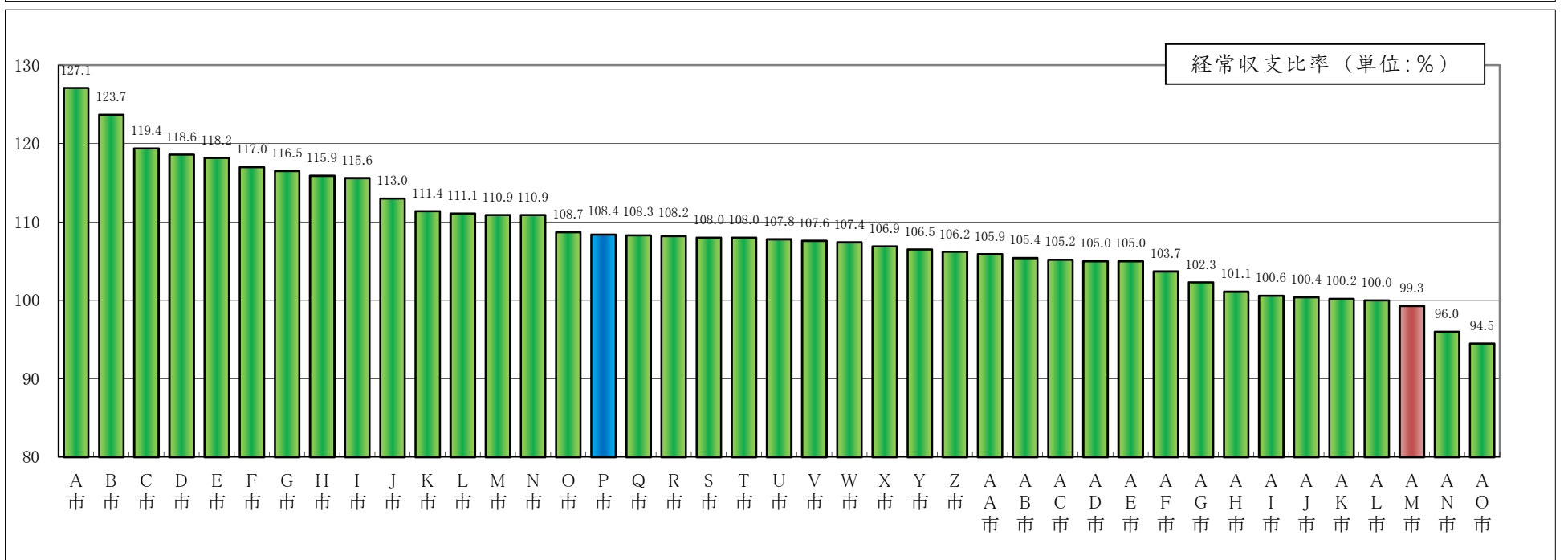
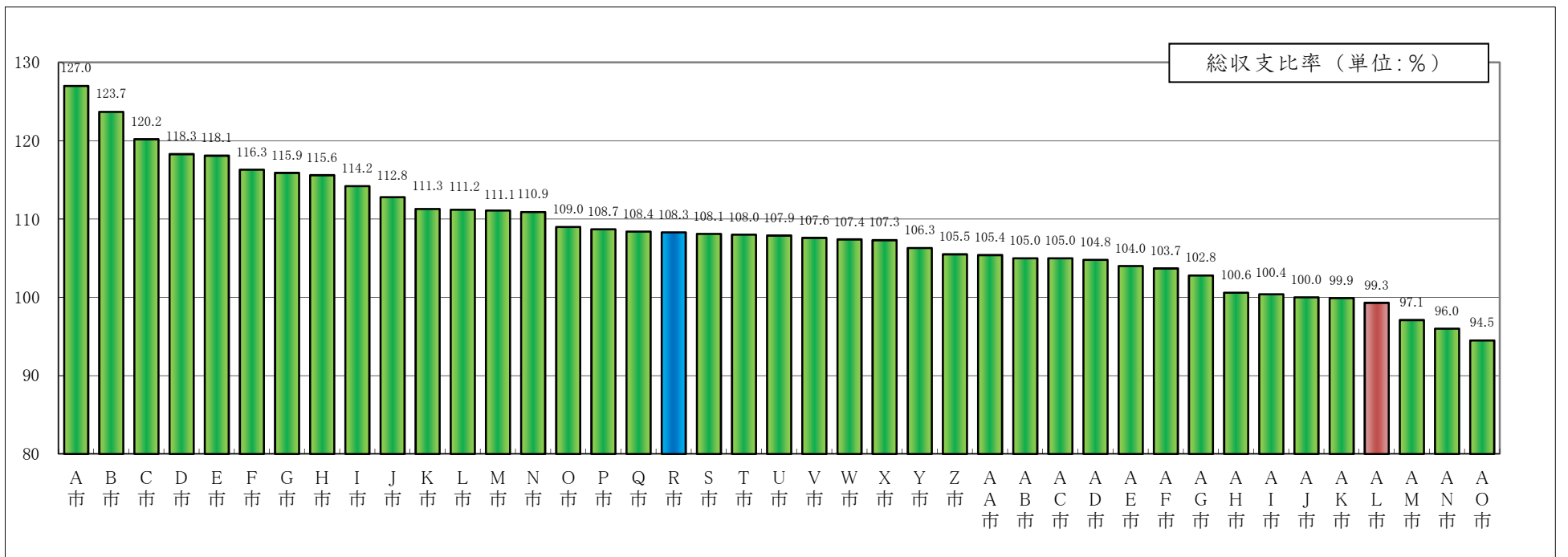
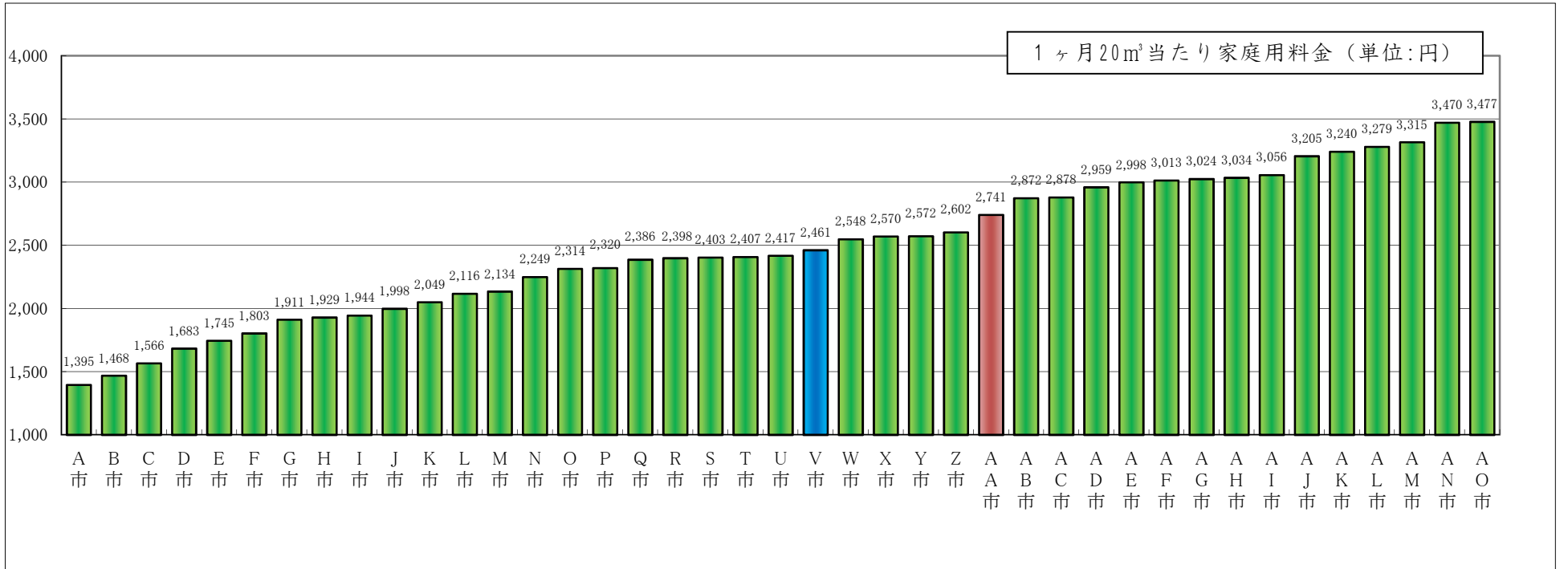
### (1) 料金体系等について

項目	大分市	中核市平均	大分市の順位	備考
処理人口普及率 (%)	62.6	82.9	36	行政人口のうち公共下水道が使用可能となった人口の割合を示すもので、公共下水道事業の整備状況を表す
汚水処理原価 (円 / m <sup>3</sup> )	173.2	162.7	25	汚水処理費 ÷ 年間総有収水量
使用料単価 (円 / m <sup>3</sup> )	156.5	145.9	27	使用料収入 ÷ 年間総有収水量



(2) 収益性・安定性について

項目	大分市	中核市平均	大分市の順位	備考
1ヶ月20㎡当たり家庭用料金(円)	2,741	2,487	27	(税込額)
総収支比率(%)	99.3	108.2	38	総収益と総費用を対比したもので、100%を超える場合は利益、100%未満は損失となる
経常収支比率(%)	99.3	108.4	39	経常費用が経常収益によってどの程度まかなわれているかを示すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表す



3. 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について (単位:千円)

■ 資金の不足額について (下水道事業会計の場合)

$$\begin{array}{r}
 \text{流動資産} \\
 2,926,853
 \end{array}
 +
 \begin{array}{r}
 \text{貸倒引当金} \\
 11,629
 \end{array}
 -
 \left(
 \begin{array}{r}
 \text{流動負債} \\
 7,649,310
 \end{array}
 -
 \begin{array}{r}
 \text{建設改良費等の財源に} \\
 \text{充てるための企業債} \\
 6,118,757
 \end{array}
 -
 \begin{array}{r}
 \text{控除引当金等} \\
 26,872
 \end{array}
 \right)
 =
 1,434,801$$

上記により、資金不足額なし(資金不足額なしのため、資金不足比率の算定は不要)